

「広報いとしま」の講読状況に関するアンケート」集計結果

令和2年3月31日

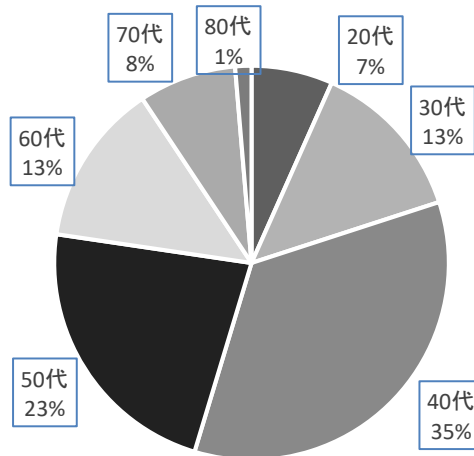
送付件数 451 件
回答件数 75 件
回答率 16.6%

市民の皆さんに的確に市政情報などをお伝えするため、月に2回（1日・15日）、「広報いとしま」を発行しています。
より一層の紙面の充実を図るため、皆さんのご意見などを伺います。

1. 回答者の属性

【年代別割合】

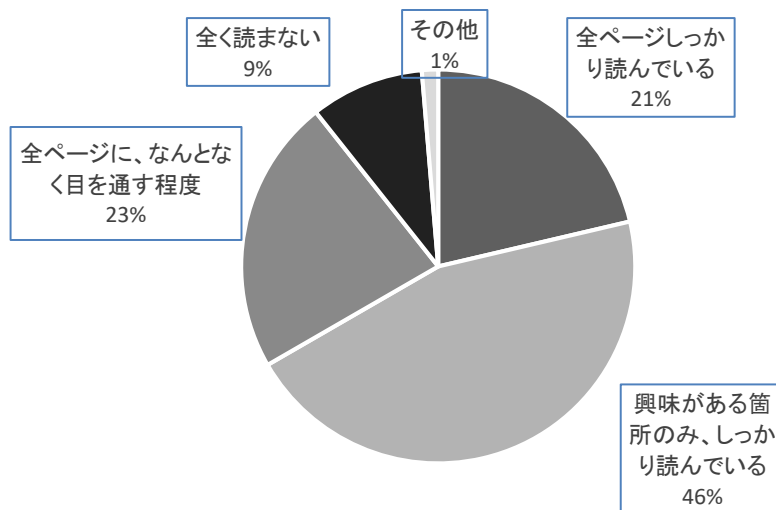
20代	5
30代	10
40代	26
50代	17
60代	10
70代	6
80代	1
合計	75



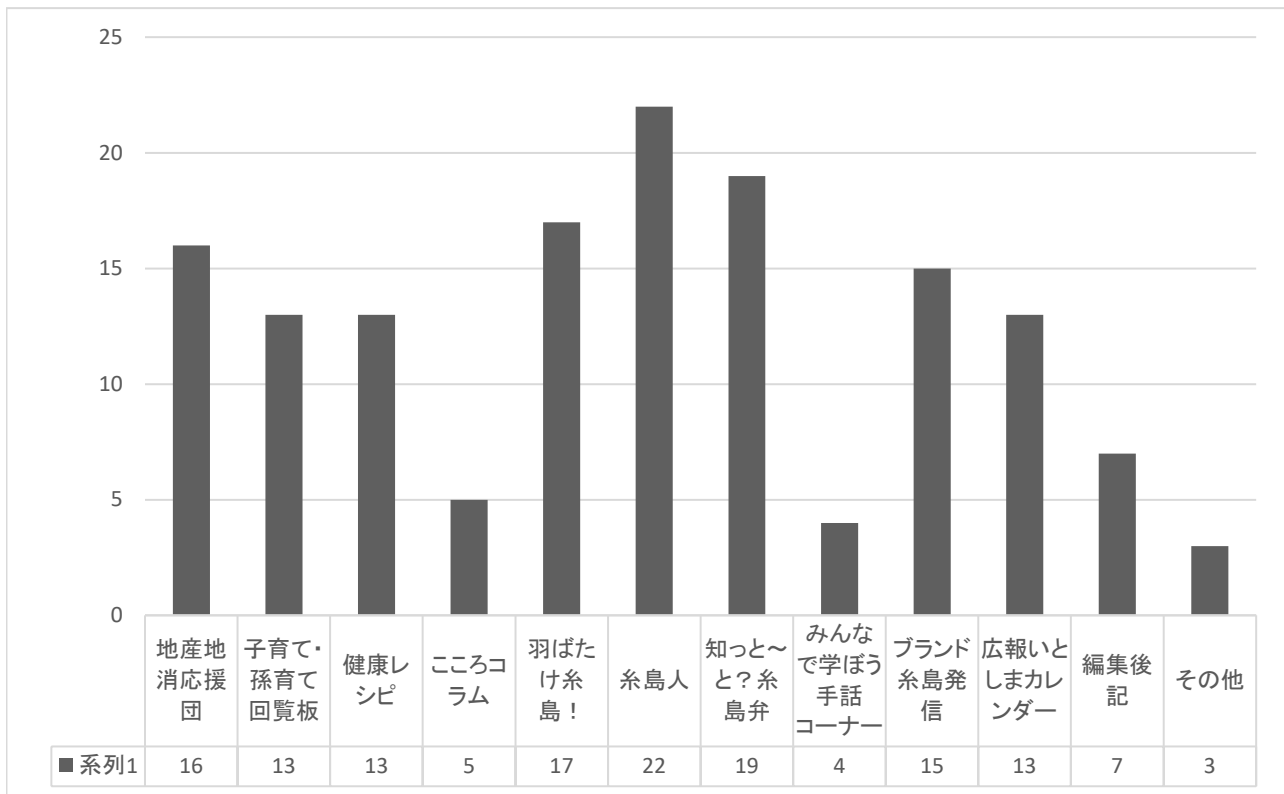
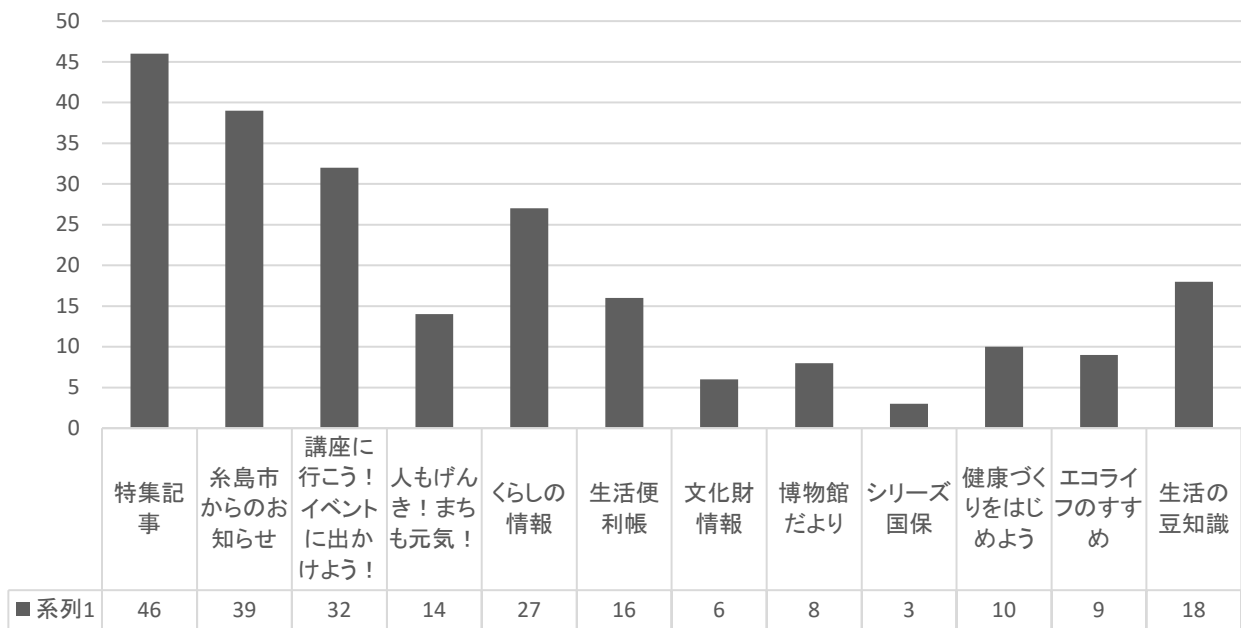
2. 各設問の回答の集計結果

【設問1】「広報いとしま」をどのくらい読んでいますか？

全ページしっかり読んでいる	16
興味がある箇所のみ、しっかり読んでいる	34
全ページに、なんとなく目を通す程度	17
全く読まない	7
その他	1
合計	75



【設問2】「広報いとしま」でよく読む記事は何ですか？（複数選択可）



●その他の回答

気になったところは読むが、こんなにたくさん項目名を並べられても、自分が読んでるのがどれにあたるのか、覚えていない、分からない。

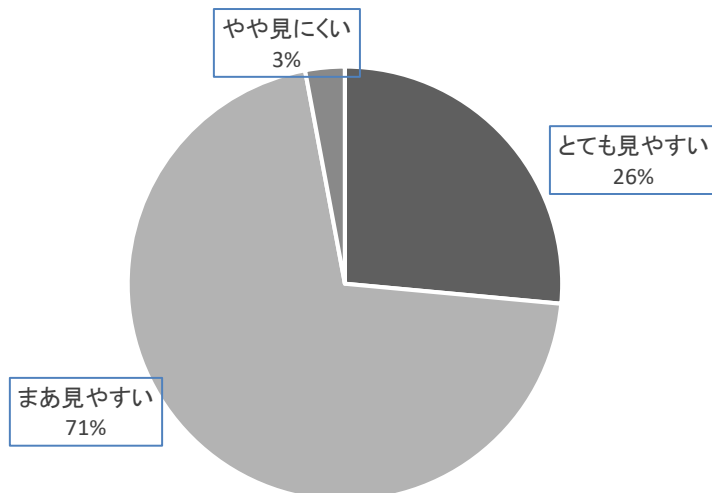
人口統計

観光に出かける前には、ホームページで読むことがある。

【設問3】「広報いとしま」の(レイアウト等の)見やすさはどの程度ですか？

とても見やすい	18
まあ見やすい	48
やや見にくい	2
とても見にくい	0
合計	68

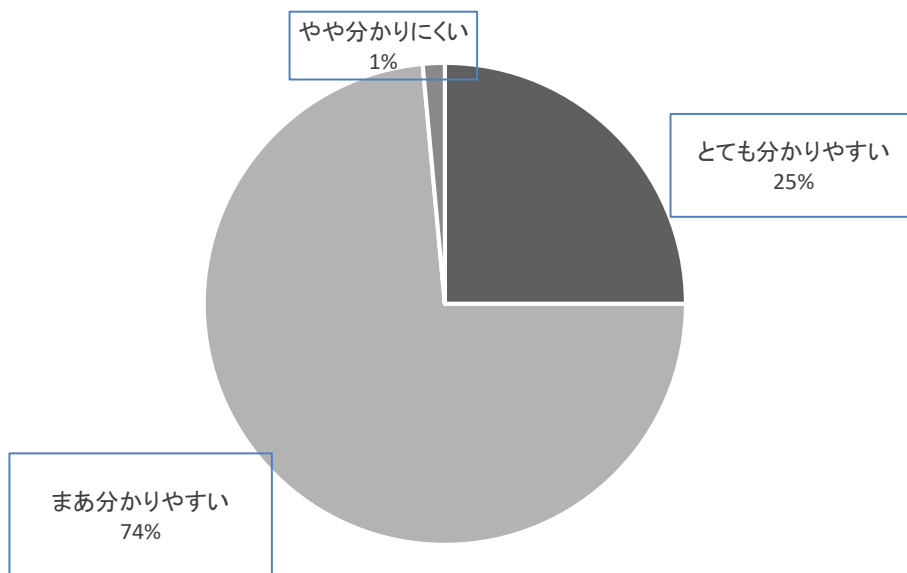
※【設問1】で全く読まないと答えた方、未回答を希望する方を除く。



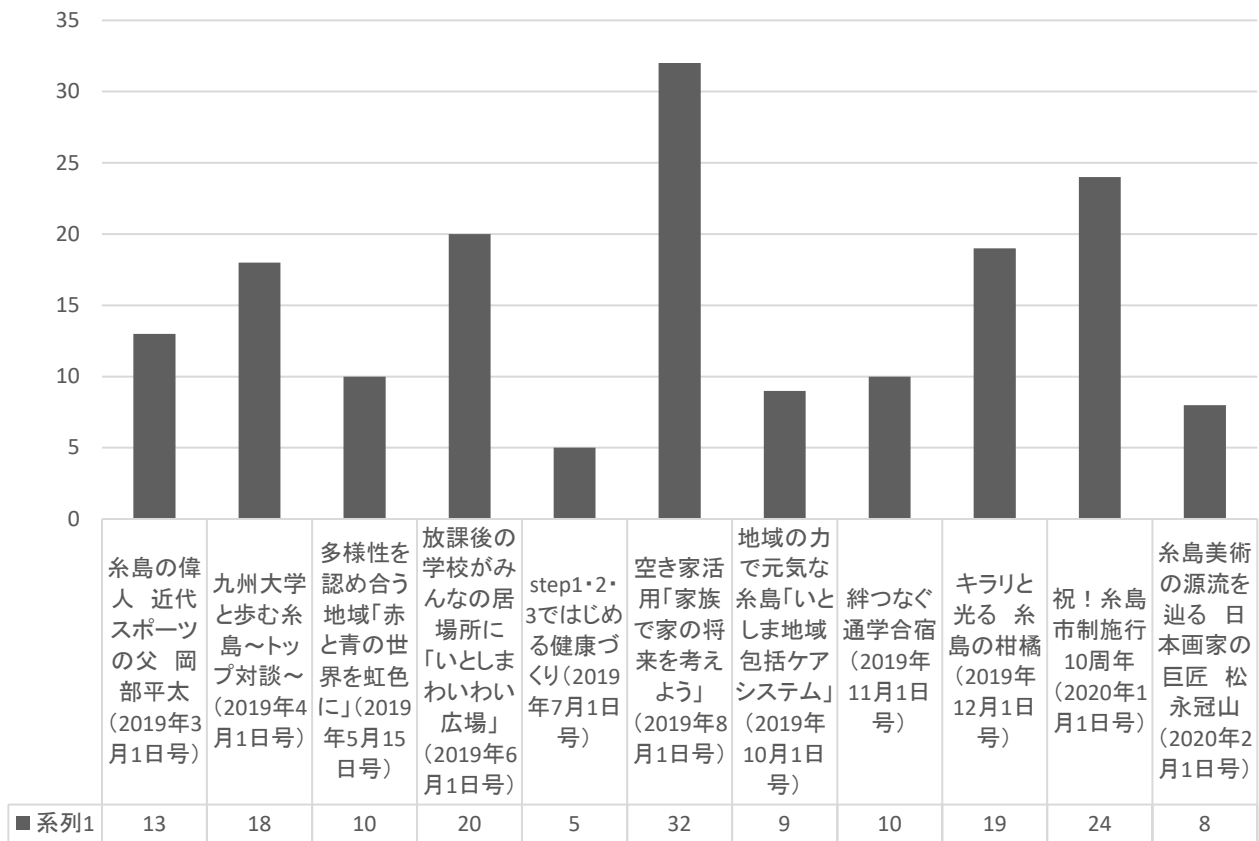
【設問4】「広報いとしま」の(文章の表現等の)分かりやすさはどの程度ですか？

とても分かりやすい	17
まあ分かりやすい	50
やや分かりにくい	1
とても分かりにくい	0
合計	68

※【設問1】で全く読まないと答えた方、未回答を希望する方を除く。



【設問5】過去1年間に、印象に残っている特集記事はありますか？(複数選択可)



【設問6】今後、掲載を希望する特集記事、また「広報いとしま」に対するご感想・ご意見等ありましたらご記入ください。

グルメ情報があればもっと読みたいと思います。ライターの方オススメだけでなく、「ここがおすすめだよ！」という投稿を募集するのもいいと思います。

いとしまの観光地、インスタ映え箇所

おもしろく、ためになる記事を読みたいです。

保育所や幼稚園など、特色や待機児童の現状を移住者、移住予定者が知る機会が欲しいです。公民館がコミュニティセンターへと変わって何が変わるのかも知りたいです。

子育て世代におすすめ公園や糸島ならではの地産物特集やそれに関するイベント

圏外で活躍している糸島人、糸島文化。

糸島市の消防団の仕事内容

各々の学校の良い所を、紹介する。

昭和の糸島

現行の内容だけでも盛りだくさんの情報がありますが、隅々まで目を通すのに、ちょうどいい分量だと思います。
1ヶ月分まとめてだと、分量も多くなり、しっかり目を通す時間がある時にしか見られなさそう。
現在、広報いとしまを組長として配布しています。
月2回は大変というほどのものではなく、散歩がてら配るのでいいかと思います。
高齢者の多い地域では、声をかけながら配るのが唯一のコミュニケーションになっております。

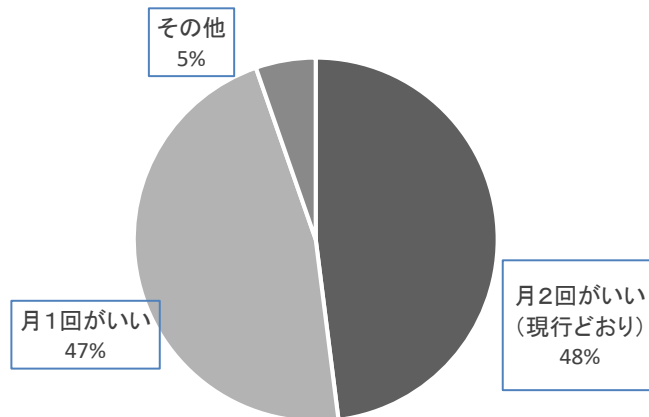
店舗紹介。

例えば、中学生の地味な部活などの特集とか、おもしろしかなと思います。
各校区単位での特色ある内容をモーラしてほしい。
地域でのイベントや新しいお店の情報
法律改正情報
いとはまは住民ではないので年6回ほどは行くための観光的な役割で興味をもって見えています。市政だよりのようなものなののでしょうか？とても内容が充実していて、福岡市のものより読みやすいです。
広報いとはまは、おそらく職員が全て記事を書いている(最近ママコトライターも多少いるようですが)と思いますが、市内の小学生から大学生までを対象にし彼らの記事を書かせてみてはどうでしょうか。なにもかも職員がやって仕事に毎月(月二回)追われるよりは、マンパワーを市民の投稿に頼ってもいいかと思えます。
糸島地区も今後外国人観光客が増えたり、海外からの滞在者も増えるでしょうから、「広報いとはま」に、市民向けに、ちょっとした通じる英語講座を連載しませんか？
糸島の糸島らしさ、移住者へのお得情報
地域ごとの特集をしてほしい。
芥屋の大戸の四季を伝えて欲しい
各行政区の魅力を特集してほしい。例えば、人物とか景観など。 又、日常使っている言葉のほんとうの意味とか。次号も、読みたくなるような記事を編集してほしい。
特に辺境行政区の高齢者に対する福祉活動の事例をシリーズで掲載して欲しい。
昔と比べておしゃれなデザインになったので、とても見やすいし興味がわきます。
糸島市民ではないですが、たまに家族で出かける大切な場所ですので、広報だけはチェックします。イベント情報など役に立っています。 先日お花を買いに伊都菜彩に行きましたが、相変わらずにぎわっていて元気をもらいました。新鮮な農産物、お花、お菓子などの食品からは生産者の温かさを感じます。こんなご時世ですが心豊かに暮らしていきたいですね。
いつもわかりやすく伝えてくださりありがとうございます！
いろいろ考えて、作成していただき、ありがたく読んでいます。
本当に以前に比べれば親しみ安い広報に変身されました。編集されている方の日々の研鑽に敬意をもって見させていただいています。 さらに市民一人一人、高齢者の方から小学生まで多くの世代の参画意識をそそのかす広報づくりを次の目標に掲げ、日々の研鑽を惜しまないでください。期待しています。
このままでよいと思います、地域の状況がよくわかり参考になります。今度行ってみたいです。
特に辺境行政区の高齢者に対する福祉活動の事例をシリーズで掲載して欲しい。

【設問7】広報の発行回数は、現在の月2回と、月1回どちらがいいと思いますか？

より新鮮な情報をお知らせできるよう現在は月2回(1日・15日)発行していますが、配布や回覧など地域の役員の皆さんの負担になるため「月1回の発行でもいい」との意見もいただいています。その場合、配布回数は半分になりますが、ページ数が増えるため運ぶのは多少重たくなることが懸念されます。今後の参考にいたしますので、皆さんのご意見をお聞かせください。

月2回がいい(現行どおり)	36
月1回がいい	35
その他	4
合計	75



◎その他の回答

毎月2回を必ずじゃなくても、情報が少ないときは、月1とか、何か大きな行事ごとには特集号を出すとか、決めなくていいんじゃないですか

web配信だけでもいいと思います。

「配布や回覧など地域の役員さんの負担になる」とありますが、区長や役員としてある程度のお手当をもらっているはずですから、業務の範囲と考えれば負担などと言ってる場合ではないと思います。年齢的に負担になるのであれば、区長のお手当を減らして広報配布業務だけ若手にお手当付きでやらせればいい。そうやって若手に業務を分配していかないと区長や役員の代替わりはなかなかうまくすまないと感じます。

2回がありがたいが、費用が多くかかるのであれば1回もあって良いと考える。